

やまゆりニュース

「やまゆりニュース」第16号 発行日：平成27年6月1日
 発行元 NPO法人あさお市民活動サポートセンター
 〒215-0021 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-5
 TEL. 044-951-6321 FAX. 044-951-6467
 発行人：植木昌昭 編集人：佐々木直子

川崎市麻生区市民活動支援施設 麻生市民交流館やまゆり

CONTENTS

麻生区における「市民活動の拠点」 としての重みを感じて	1
A 【安全・安心】 オレンジリング百合ヶ丘	2
S 【サプライズ】 安井曾太郎画伯の愛弟子	2
A 【アミューズメント】 邦楽芸能友の会	3
O 【お役立ち情報】 徘徊高齢者等 SOSネットワーク事業	3
やまゆりサロン文化 2015年イベントスケジュール	4

麻生区における「市民活動の拠点」としての重みを感じて

麻生市民交流館やまゆり（以下「やまゆり」）を運営管理している「あさお市民活動サポートセンター」は5月23日（土）に総会を実施し、活動を支援していただいている正会員の皆様に、平成26年度の活動内容を報告させていただきました。

主な報告内容は下記5点となります。

- ① 川崎市制90周年において奨励賞を受賞し、更に、川崎市で6番目・麻生区ではじめての川崎市条例指定NPO法人を取得し、新しいステージに向かうことになりました。
- ② 利用登録団体数は619団体と、ついに600を超え、川崎7区では飛び抜けた数となりました。2番目は中原区の250団体であり、毎年開催される「区民講師公開講座」「アクティブシニア達のセミナー」などから新しい会が生まれています。
- ③ 「サロン文化の創造」を目指し、昨年度に引き続き音響・照明機器・遮光カーテンなどを充実させ、サロンを活用した多人数の立食スタイルでの団体の懇親会など、夜間・土日の利用を飛躍的に増加させることができました。

- ④ 昨年決まった「やまゆりシンボルマーク」をつけたスタッフのブルゾンを作成。区民祭で披露し、「やまゆり」の活動を知っていただくためにイベントなどで活用しました。



- ⑤ 日本おもちゃ病院の協力をえて「おもちゃ病院」の定期開催を実施し、壊れたおもちゃを治してもらい喜ぶ子どもたちの声がサロンに溢れ、従来にない「やまゆり」のファンを増やすことができました。

運営をお手伝いいただくスタッフも毎年増え、50名超の方々が活躍されています。個人の正会員・賛助会員の数も増え、138名となりました。

区民の皆さんに愛される「やまゆり」を目指し、27年度も努力を重ねてまいります。なお一層のご支援をお願いいたします。

理事長 植木昌昭



● やまゆり利用者
年度別実績の推移

年度	会議室(回数)		印刷(枚数)		利用者数	利用登録
	平日(夜間)	土日・祝	製版	印刷	(人数)	(団体数)
26	1,223(372)	463	5,967	918,786	23,250	619
25	1,089(236)	397	6,908	1,014,658	22,125	596
24	1,016(181)	340	5,405	945,540	21,309	576
23	1,022(158)	359	5,212	952,152	20,813	542
22	946(149)	336	5,074	930,486	20,185	510
21	935(96)	316	5,299	964,275	18,897	466
20	874(118)	149	5,212	802,303	16,821	421



Anshin 安心

オレンジリング百合ヶ丘 地域で見守り平穏、安心な毎日を

「オレンジリング百合ヶ丘」について、その趣旨を主催者の伊藤さんに聞いた。

「認知症や、障がい者、高齢者の人たちとその家族(介護者)にとって一番必要なのは、地域に見守られながら、精神的にも身体的にも健康で平穏な日々を送れることです。そうした日々が得られる一助となることを目的としています。」

そのために「オレンジリング百合ヶ丘」は、介護される本人と家族(介護者)はもちろん、地域の誰もが気楽に立ち



オレンジリング百合ヶ丘
開催中の高石公民館入口

寄り相互に交歓を図るだけでなく、認知症サポーター、キャラバンメイト、地域包括支援センターの職員の方等も含めて、みんなで

たわいのないおしゃべりや遊戯に時間を過ごし、くつろいだり、情報交換や相談をする場にしたい。世話をしている家族(介護者)の方にも、憩いの場が必要とのことだった。

さらに伊藤さんは、百合ヶ丘では高石公民館を利用でき大変感謝しているが、こうしたカフェは、各駅ごと徒歩圏内にある必要がある。もっと数がふえるように、資金面を含め一層のご理解とご協力をいただきたい、とも語った。

取材時の会場は、ご自身介護者でもある伊藤さんの真摯で熱のこもった説明と同時に、暖い雰囲気と笑い声に包まれていた。もし、あなたが悩みを抱えていたら、ぜひ訪れてみることをお勧めしたい。帰り道はきっと今までにない安心感が生まれているだろう。



出席されたキャラバンメイト、認知症サポーター、地域包括支援センターの方々。辛さを共有し、優しく楽しい人たちでした

DATA

●オレンジリング百合ヶ丘

いとう かねまさ
代表: 伊藤 金政
連絡先: ☎090-8115-7997
✉ hiro-20axel@ezweb.ne.jp
設立: 平成25年3月
会費: 200円(茶菓代)
開催: 毎月第3金曜日
13時30分~16時
(ただし、8月は第5金曜日)
開催場所: 高石公民館

取材・文 区民記者 仲原照男



Surprise サプライズ

「安井曾太郎画伯の愛弟子」 画家・松本恵子さんが思い出を語る

「先生は、寡黙で武士のように背筋をピンと伸ばして威厳のある方でした」と、松本恵子さんは語る。「先生の直門は30人ほどいましたが、みなさん亡くなられて、いまは私ひとりだけ」。

先生とは、昭和の洋画壇を代表する「肖像画の名手」、安井曾太郎画伯。思い出を語るのは、画伯の直門の弟子、画家・松本恵子さん(88才)。

「薔薇と白馬のファンタジー」(油彩)
／「戦後日本美術総集目録」(2015・3発行)に掲載



松本さんは、子どもの頃から絵を描くのが好きで、学校でもよく表彰された。青春時代は戦争で絵を描くどころではなかったが、画家になる夢は追い続けていた。そして「安井画伯の門下生に加えていただき、幸せだった」と、振り返る。

「門下生の展示会に安井先生が来られて、私の絵をじーっとご覧になっていると、黙っていらしてもその雰囲気、絵のどこが足りないのかがわかってきてしまう。それが不思議でした。また先生は、湯河原の旅館「天野屋」(当時)の別館を制作の場とされ、そこから多くの名作も生まれました。」と、思い出話は尽きない。

松本恵子さんの絵は「色彩がきれい。色づかいがすばらしい」と評価が高い。今年2月にモナコで開催された

安井曾太郎画伯(1888~1955)
[Wikipedia提供]



松本恵子/Keiko Matsumoto(麻生区在住)1927年生まれ。安井曾太郎、大津鎮雄に師事。一水会会友、日本美術家連盟会員

「モナコ・日本芸術祭2015」に出展した薔薇の絵は「ローズ・ドゥ・モナコ(モナコの薔薇)賞」を受賞した。

自宅アトリエのイーゼルには、制作中の絵があった。「生涯、絵を描き続けたい」と松本さん。若い頃から歩んでこられた画家の道、いつまでもお元気で描き続けてほしい。

取材・文 区民記者 石崎純也



Amusement アミューズメント

「邦楽芸能友の会」

きらめく和の文化、伝統芸能に親しもう

例年11月、麻生市民館で開催される「邦楽祭」は和服姿の百合丘さくら幼稚園園児のお琴の合奏「さくらさくら」で幕があく。日本舞踊、長唄、箏曲などの発表会だ。主催は「邦楽芸能友の会」と川崎市文化協会。

「友の会」の主目的は普及活動。会員は長唄、日本舞踊、箏曲、尺八などの名取・師範10人。「邦楽祭」には師匠とその門下生が出演する。

伝統芸能の魅力はその磨きぬかれた美しさにある。声を出したり体を動かしたり、健康にもよい。その魅力を一



お琴の合奏（2014年11月、邦楽祭30周年記念公演）

人でも多くの人と共有したいと、会の立ち上げから30年間、会長として情熱を傾けてきたのは麻生区在住の日本舞踊家、藤間勳七孝さん。普及活動は地元を重視。南百合丘小学校5年生を対象に毎年、「日本の舞踊と音楽」の鑑賞・体験学習を実施したり、百合丘さくら幼稚園で園児にお琴を教えたりしてきた。住民に親近感をもってもらおうと、禅寺丸柿や養蚕など地元の伝承をモチーフにした創作舞踊にも取り組んでいる。

当面の課題は「初心者向け邦楽体験セミナーの開催」。活動に賛同・協力してくれる指導者クラスの入会者を募集している。鑑賞に興味がある方は是非「邦楽祭」へ（入場料1000円）。お稽古を希望する方は「友の会」に連絡すると相談にのってくれる。



麻生区文化協会主催「夏休み子ども教室」で踊りを指導する藤間勳七孝師匠（2014年）

DATA

●邦楽芸能友の会

代表 ふじま かんしちこう 藤間 勳七孝

連絡先: ☎044-954-3066

設立: 1984年11月

会員: 10人(門下生:約80人)

入会金: 5000円

年会費: 7000円

入会資格: 邦楽、伝統芸能の指導者クラス

活動日、活動場所は随時、随所

取材・文 区民記者 飯田保幸



Oyakudachi お役立ち情報

徘徊高齢者等SOSネットワーク事業 行方不明にならないために！

川崎市には「徘徊高齢者等SOSネットワーク事業」がある。その目的は、徘徊の恐れがある在宅高齢者等に対して、早急な発見ができるよう市・区役所、警察、地域包括支援センターなどの関係機関が協力し、高齢者等の安全確保と家族の支援を行なうことである。

事前登録は、区役所の3階にある保健福祉センター高齢・障害課でできる。全身と顔の写真を持参し、所定の用紙に氏名、年齢、住所、電話のほか、身長、体重、体格などの特徴を記入する。登録の費用は無料。

この制度は2003年に市、区同時にはじまったが、2014年現在、区内の登録者は79名に留まっている。昨年度、川崎市において、ネットワーク登録者が

徘徊した場合、翌日までに7割以上の人が見つかっている。

日本は高齢化社会を迎え、認知症の患者が急増している。厚生労働省は、2012年の時点で全国に約462万人(65歳以上の高齢者の7人に1人)と推計しており、約10年後の2025年には730万人(同、5人に1人)と推計。認知症では、正常に働いていた脳の機能が低下し、記憶や思考への影響がみられる。その場合、外出すると迷子になることがあり、家族の心配の一つだ。NHKの調査によれば、年間約1万人の行方不明者が警察に届けられる。

区内に居住する、おおむね65歳以上の高齢者で、徘徊のおそれがある人は、進んで登録しよう。



困ったな！ こゝはどこ？

連絡先 川崎市SOSネットワーク

氏名	旧姓
()	()
電話 自宅	()
家人が不在の時	()
住所	川崎市

アイロンの熱で衣服に張り付くシール
事前登録するときにもらえる

<事前登録>

- 連絡先 麻生区役所保健福祉センター
高齢・障害課 ☎044-965-5148
- 所在地 川崎市麻生区万福寺1-5-1
- 受付時間 平日8時30分～12時
および13～17時

取材・文 区民記者 中島久幸

“やまゆりサロン文化” ふれあう・ひろげる・つくりだす

「やまゆり」年間スケジュール 平成27年度 6月以降(予定)

6月

13日(土)
深緑やまゆり
劇場

20日(土)
27日(土)
ホームページ
作成工房

7月~



8月

1日(土)
歌声酒場
受付6月15日~

8日(土)
真夏の
ハワイアン

9月

6日(日)
シャルメと季節を巡る
親子コンサート

6日(日)
ドミンゴ前迫と歌う
歌声サロン

10月

18日(日)
おしゃべり
歌謡サロン

24日(土)
歌声喫茶 秋
受付9月1日~

10月31日(土)
11月1日(日)
第5回
クラフト展

11月

14日(土)
第3回
やまゆり
楽芸会

21日(土)
28日(土)
動画作成
工房

★12月以降の予定

★12月5日(土) 年忘れ 飯山劇団

★12月19日(土) クリスマス・コンサート

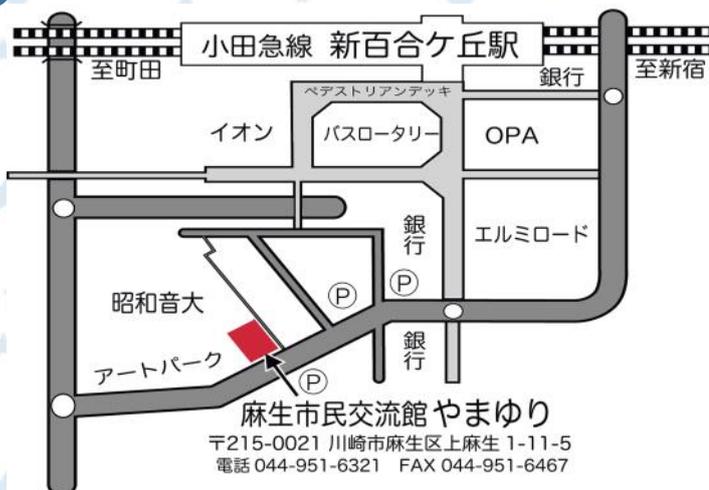
2016年

★1月9日(土) 第9回 新春やまゆり奇席

★2月6日(土) 歌声喫茶 冬

★3月 第7回 区民講師公開講座

★問い合わせ・申込 麻生市民交流館やまゆり Tel044-951-6321



【開館日】

月曜~金曜 9時30分~17時
※平日の夜間、土曜・日曜、祝日も予約すれば利用可。
休館:年末年始、施設点検日

【アクセス】

小田急線「新百合ヶ丘駅」南口から徒歩4分

【ホームページ】

<http://web-asao.jp/yamayuri/>

あさお区民記者

区民による、区民のための情報発信を目的に活動。

区民記者は「やまゆりニュース」掲載記事の
企画構成・取材撮影を担当しています。

過去の取材記事はホームページに掲載しています

<http://www.asao-ku.net/>

麻生市民交流館やまゆり
〒215-0021 川崎市麻生区上麻生 1-11-5
電話 044-951-6321 FAX 044-951-6467